

会 議 録

1 会議名

第4回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○ 報告事項（公開）

(1) 地域協議会ファシリテーション研修等の報告について

(2) 「大・浦・安」地域協議会委員研修について

○ 協議事項

(1) 「地域内の視察・現地めぐり」の実施方法について

(2) 「市政の課題等をテーマとした勉強会」の実施方法について

○ その他

○ 次回の開催日について

3 開催日時

令和6年8月29日（木）午後6時30分から午後7時35分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 4階 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：市村千映（副会長）、小野正広（副会長）、北澤誠、北澤正彦（会長）、五井野利一、杉田和久、竹内登美子、西山正成、水澤幸博

・事務局：浦川原区総合事務所 坂井所長、岩野次長、保倉次長、唐澤市民生活・福祉グループ長、西山教育・文化グループ長、村松地域振興班長、原田主事

8 発言の内容

【北澤会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 出席者は9人で欠席委員は、市村一雄委員と金子委員と松野委員
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告
- ・ 本日の会議録については、北澤誠委員に依頼

【北澤会長】

それでは、「2 報告事項」に入る。「(1)地域協議会ファシリテーション研修等の報告について」である。これについては、去る8月1日(木)「ミューゼ雪小町」にて、各地域協議会の正副会長を対象に行った。研修等の内容について、市村副会長から、委員の皆さんへ報告をお願いします。

【市村副会長】

地域協議会ファシリテーション研修会等について報告させていただく。日時は、令和6年8月1日(木)午後1時から5時までで、北澤会長、小野副会長と私の3人で出席した。株式会社話し方教育センターの方を講師として迎え、会議が円滑に進められるために、参加委員の発言を促しながら、多様な意見を調整し、最後には議論を収束させ、合意形成を図る技術の習得を目的として開催された。各テーブルに分かれ、グループワークも行ったが、和やかな雰囲気の中で研修会を受けることができた。今後、地域協議会において、ファシリテーターとして皆さんの意見がスムーズに出るように努めていきたいと思っているので、協力をお願いします。研修会后、正副会長、市役所地域政策課職員、各総合事務所長、各まちづくりセンター長との意見交換を行った。

報告は以上である。

【北澤会長】

今の報告の中で質問はあるか。

(質問なし)

「2 報告事項」 「(1)地域協議会ファシリテーション研修等の報告について」を終了する。次に「2 報告事項」 「(2)「大・浦・安」地域協議会委員研修について」事務局から説明をお願いします。

【岩野次長】

大島区の地域協議会事務局から、「大・浦・安」地域協議会委員研修について、日程が決ま

ったと連絡があったので、私から皆さんに報告させていただく。研修日程は、11月13日(水)午後3時30分から大島就業改善センター3階の大会議室で行う。研修会のテーマは「持続可能なまちづくりについて」で、講師は、上越市創造行政研究所の藤山所長に依頼している。その後、場所を大島庄屋の家宿泊棟に移し、午後5時30分から情報交換会を予定しているとのことである。後日、通知文書を配布させていただくので、その際出欠の報告もあわせてお願いする。説明は以上である。

【北澤会長】

今の説明に質問はあるか。

(質問なし)

次に、「3 協議事項」「(1)地域内の視察・現地めぐりの実施方法について」だが、こちらも事務局から説明をお願いする。

【岩野次長】

資料NO. 1、資料NO. 2に沿って説明。

【北澤会長】

地域内の視察・現地めぐりの実施について、まず委員の皆さんの「見てみたい」、「聞いてみたい」、「知りたい」を把握したいと思っている。資料NO. 2について1人ずつ意見をいただきたい。席の順番で小野副会長からお願いする。

【小野副会長】

東頸バス(株)に行き浦川原区コミバスの実証運行について話を聞きたい。また、浦川原区だけではなく安塚区の運行状況についても聞きたい。予約型コミュニティバスの現状を把握したい。

【北澤誠委員】

空き家問題に関して、浦川原区の状況を見てみたい。また可能かどうか分からないが、東頸中学校も見てみたい。4月に中学校が統合し、その後どうなったか気になる。

【五井野委員】

特に意見はない。皆さんにお任せする。

【杉田委員】

旧中保倉小学校及び旧末広小学校の校舎の現況把握のための視察をしたいと考えている。校舎、体育館について、例えばeスポーツの会場としても使えないかと思っている。立地条件もあるが、大きな施設として存在しているので、何かに活用しなければもったいないと感じる。

【竹内委員】

分からないことが多くあり、皆さんについていきたいという気持ちがあるため、私の意見としてはない。

【西山委員】

まず、鳥獣被害対策について話を聞いてみたい。電気柵の普及で、農業被害は減っていると確認しているが、農道や畦道などの掘り返しや、他の被害状況、対策について興味がある。

2つ目に大浦安の中で、市が関わっている施設等がどういう状況になっているかお聞きしたい。

3つ目は、地域のお宝について話を聞いてみたい。浦川原区にもいくつかあるはずだが、お宝として認定されるまでの経緯や歴史的な価値はどうなっているのか、あるいは保存や伝承の方法など、どのように考えているか話を聞いてみたい。

最後に、中山間地域の農業について伺いたい。面積、作物、後継者など地域の人たちの話もお聞きしたいが、市としての方向性も知りたい。分からないことが多いため、数も多くなってしまうが、幅広く知りたい。

【水澤委員】

今年度法人化する月影の郷について話を聞いてみたい。地域の活性化や交流人口の増加について、様々な人に協力してもらいながら活動をしているので、そのあたりの話を聞いてみたいと思っている。

次に、上岡町内会での耕地整備と、その効果についてお話をお聞きしたい。また、後継者育成についても工夫されているところがあればお聞きしたい。

また、浦川原区内には文化遺産があり、中保倉地区ではかつてその資源をお宝道と呼び、今でも時々歩いている人がいる。現市長は通年観光ということで、春日山地区や直江津地区に特に力をいれているが、浦川原区内でもお宝道含め文化遺産について調べ、観光スポットにすることができれば交流人口を増やせると考える。観光計画について調査、企画ができればよいと思っている。

以前の地域協議会で霧ヶ岳温泉ゆあみの利活用について考えを述べさせてもらった。霧ヶ岳は標高500mを超え、半日くらい楽しめる山で、時々登山を楽しんでいる人もいる。そういった人たちのベースキャンプとして霧ヶ岳温泉ゆあみが重要な場所になると思っている。また、浦川原区は飲食店を含め多数収容できる施設がないので、快適な食事を提供できるような事業者を募り、霧ヶ岳温泉ゆあみを、浦川原区の地域コミュニティステーションの1つの拠点として活用できるよう、研究する余地はあると思っている。

最後に、山本ぶどう園について、行政含め地域と将来的につながっていきけるような方法を検討することが大切だと思っている。そのためにも直接生産者の皆さんと話をすると必要があると思う。多くなったが以上である。

【市村副会長】

今年の中猪子田町内会で開催された祭りを感じたことを発表する。8月11日(日)に開催されたが、神輿の参加者も少なく、各戸に抽選権も配られたが、参加された住民も少なく寂しいものであった。子供会、婦人会も解散し、私が中猪子田に来たときはお揃いの浴衣で民謡流しやカラオケ大会も盛大に行われていた。ほかの地区や地域ではどのような企画があり、参加してもらおう工夫をしているか聞いてみたい。また、浦川原区は自分たちで何かしなければならぬという気持ちが足りないと感じている。例えば大島区の熊田町内会では、懐かしの写真展を開催したり、牧区では「棚田のきらめき2024」というイベントを開催したり、小さい町内会が元気である。自分の考えにはなるが、浦川原区中猪子田は自分たちで何か頑張らなければいけないという意識が少ない気がする。そういったことを今回の祭りで身近に感じたので発表させていただいた。

【北澤会長】

私は区内の空き家の現状を知りたいと思っている。少子高齢化に伴い、空き家が増えていることは浦川原区だけの問題ではないが、中山間地域では家に住むことがなくなると、それに付随する畑や田んぼの管理が行き届かない現状が増加し、近隣住民に直接的な被害も生じているケースも耳にする。市として、区内の空き家の状況把握がどの程度されているのか。また、所有者・地権者により管理されている物件は確認しなくてよいが、管理がままならない物件の実情を知りたい。さらに一歩進めて、移住促進を考えたときに、市の組織の中には、移住促進の専門部署があると聞いている。市の移住促進での支援策で、具体的に対象となる物件はあるのか、空き家を再生し、売却・賃貸に至る現況の調査に係る費用を捻出できる政策があるのか。もしくは地域独自の予算の活用は可能かなど、具体的な活用方法について話を聞きたいと思っている。発表について以上である。

委員の皆さんからたくさんの貴重な意見をいただいた。全部が全部というのは難しいと思うが、必要であれば視察研修について、複数回実施してもよいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

【岩野次長】

今回いただいた意見については、地域めぐり・視察と考えた中で、主体には施設を見に行くという形になると思っている。西山委員や水澤委員の意見については、現状の資料などを

事務局から皆さんに情報提供し、委員同士の意見交換や協議をいただいて、1歩1歩進めていただきたいと考えている。また、そういう場を地域協議会の中で設けて進めていければよいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

【北澤会長】

地域内の視察、現地めぐりについてほかに意見や質問はあるか。

(意見なし)

次に「3 協議事項」「(2)「市政の課題等をテーマとした勉強会の実施方法について」事務局から説明をお願いします。

【岩野次長】

令和6年度から、市の新規事業ということで、「市政の課題などをテーマとした勉強会」を新規取組として実施していきたいと春先に報告させていただいたが、今回は11月に開催する「大・浦・安」地域協議会委員研修を勉強会に兼ねたらどうかと事務局は考えている。市役所の担当課にも確認し、兼ねることができると了承を得ている。浦川原区地域協議会では、「市政の課題などをテーマとした勉強会」を「大・浦・安」地域協議会委員研修で兼ねることによいか、会長に取りまとめていただきたい。

【北澤会長】

事務局から、「市政の課題等をテーマとした勉強会について」は、「大・浦・安」地域協議会委員研修と兼ねることができるとの説明があったが、そうすることでよろしいか。

【西山委員】

「持続可能なまちづくり」がテーマだと、市政の課題としてたくさんあると思われる。現状、問題になっている部分について、抗うことなくそれを前提として、持続可能な状況になっていく。例えば少子高齢化については、人口減少が進んでいくなかで、何とかそれを食い止めるためにいくつかの方法や考え方はあると思うが、減っていくことを前提としたまちづくりというような形になってしまうと思う。

【北澤会長】

「大・浦・安」地域協議会委員研修のテーマが細かく指示されていないので、西山委員の言われた気持ちはよく分かる。「市政の課題等をテーマとした勉強会」を「大・浦・安」地域協議会委員研修と兼ねた際に、「テーマが良くないから再度勉強会をしたい」という意見も出てくるかもしれないが、それはあって当然だと思う。ただ、今回については「市政の課題等をテーマとした勉強会」を、「大・浦・安」地域協議会委員研修と兼ねる方向で進めていきたいと思っているがいかがか。

【西山委員】

承知した。

【岩野次長】

「大・浦・安」地域協議会委員研修のテーマが「持続可能なまちづくり」ということだが、令和5年度に、大島区、浦川原区、牧区でまちづくりワークショップを行った。近年、人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティの維持や生活支援など、様々な地域課題への対応が求められている。少しでも人口を安定化するために、多様な働き方によって、移住・定住を進めるという内容である。そういった切り口から、上越市創造行政研究所の藤山所長に講演をしていただくことになる。

【水澤委員】

今回の研修についてはそれで良いと思っている。勉強会をする中で、問題があれば課題も出てくる。私ども地域協議会としては、的を絞ったプロジェクトを実行していく中で、浦川原区地域協議会が変わったというところも発信し、浦川原区には4地区のコミュニティがあるので、それぞれ連携した中での活動や意見交換ができれば良いと思う。

【北澤会長】

貴重な意見であるし、そのとおりだと思う。皆さんからお話を聞き、たくさんの意見をいただいた。その中でもしこの問題について、市としてどういう対策をしているか、事務局に聞いてもらえば、個人情報を除き、教えてもらえる。地域のためにも色々な情報に触れ、分からないことがあれば事務局へ問い合わせしてほしい。

ほかに意見はあるか。

(意見なし)

それでは、「3 協議事項」「(2)「市政の課題等をテーマとした勉強会の実施方法について」を終了する。

「4 その他」について、事務局から情報提供や報告等あるか。

【岩野次長】

- ・「谷集落で導入を予定している地域おこし協力隊の募集に係る進捗状況について」情報提供
- ・「8月20日火曜日に開催された令和6年度第1回浦川原区地区公共交通懇話会の内容について」情報提供
- ・「地域協議会委員名刺の配布について」報告

【北澤会長】

今の説明に質問はあるか。

【北澤誠委員】

その他にはなるが、春日山城の売店で「コシヒカリアイス」が販売されていた。過去、霧ヶ岳温泉ゆあみでコシヒカリアイスが売られていたが、同じ名前で販売されていることを市として把握しているのか。

【村松班長】

霧ヶ岳温泉ゆあみに勤務していたので、私から説明させていただく。霧ヶ岳温泉ゆあみでコシヒカリアイスを販売していた際、特に「コシヒカリアイス」という名前で特許や商標登録は取っていなかった。したがって、どこのメーカーが「コシヒカリアイス」という名目で販売していても、霧ヶ岳温泉ゆあみで販売していたコシヒカリアイスとは関係なく、また、支障もないということで理解いただきたい。

【北澤会長】

ほかに意見はあるか。

(意見なし)

次に、「5 次回の協議会の開催日について」だが、次回の第5回地域協議会は、8月9日(金)に開催した浦川原区地域協議会委員研修において、9月26日(木)の午後6時30分からと決定している。また、第6回地域協議会は、10月29日(火)の午後6時30分からである。次回、9月26日(木)の第5回浦川原区地域協議会の際に、第7回の開催日程を決めていただきたいと思っているので、11月の予定についてあらかじめ確認をお願いします。

以上で第4回浦川原区地域協議会を閉会する。

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別途の会議資料もあわせてご覧ください。